

1-(2) 大学連携日本語パートナーズ派遣

申請書略号:AC-IP

担当:アジアセンター日本語事業第2チーム

日本国内の大学等で日本語教育を専攻する学生を、ASEAN諸国を中心とするアジアにおける高等教育機関等にインターン（大学連携日本語パートナーズ）として派遣し、現地日本語教師・学習者を支援するとともに、現地の人々との相互理解を促進し、深めることを目的としたプログラムです。

申請資格

日本語教師養成課程を有する日本国内の大学・大学院・短期大学（以下「連携大学等」）

派遣期間

1年未満（原則として2023年3月31日までに帰国）

実施方法

JFと連携大学等の間で、インターンの派遣先、時期、期間、人数等実施の詳細を協議し、合意書を締結します。

派遣先及び支援内容

派遣先	ASEAN10か国、中国、台湾
被派遣者	日本語を母語とする学生
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・往復航空賃（エコノミークラス割引運賃、空港諸費用含む） ・住居費 ・海外旅行傷害保険料 <p>※上記項目は、JFの定める上限額の範囲内で支給します。</p> <p>※より多くの学生に対して支援を行うため、日本語教育実習期間に応じて、申請者側（大学及び参加学生等）に一定程度の負担を求めます。</p> <p>※原則として食事代は負担しません。</p> <p>※当該派遣に国や、国の関連機関からの奨学金、助成金の併用は認められません。</p> <p>※JFの共催分担金の使途と、他の団体からの助成金や寄附金の使途が、同一の経費に重複することは認められません。</p>

選考方針

- (1) 全プログラム共通の選考方針はp. 4をご覧ください。
- (2) 以下のような観点から審査します。
 - ア 連携大学等における日本語教師養成課程の位置づけ及び内容（特に、単位が付与される日本語教育実習を優先して採用）
 - イ 連携大学等における参加学生への指導体制
 - ウ 期待される具体的成果
 - エ 受入先機関との協力体制
 - オ 申請者側（大学及び参加学生等）による一定程度の負担をはじめとする、適切な予算計画
 - カ 実習に必要な日程の確保をはじめとする、適切な事業実施計画
 - キ 日本語学習者と参加学生との交流機会の増大
 - ク 可能な範囲における日本文化紹介事業の有無
 - ケ 事業実施地の安全状況

採用実績（参考）

採用33大学295名／応募33大学295名（令和3年度大学連携日本語パートナーズ派遣）

申請締切

2021年12月1日（必着）

結果通知

2022年4月初旬